【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【公開番号】特開2015-206789(P2015-206789A)
【公開日】平成27年11月19日(2015.11.19)
【年通号数】公開・登録公報2015-072
【出願番号】特願2015-80578(P2015-80578)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｒ　19/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　21/336　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　29/786　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　31/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｒ　19/00　　Ｃ
Ｈ０１Ｌ　29/78　６２４
Ｇ０１Ｒ　31/02

【手続補正書】
【提出日】平成30年3月22日(2018.3.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被試験用トランジスタのゲートに第１の電位を与え、
前記被試験用トランジスタの第１の端子と、第１のトランジスタの第１の端子が電気的に接続されるノードに、前記第１のトランジスタを介して電荷を蓄積させ、
前記第１のトランジスタを非導通にし、
前記ノードと電気的に接続する読み出し回路の出力端子の第２の電位と、前記第１の電位を定期的に測定し、
前記第２の電位から前記第１の電位を差し引いた値の時系列を作成し、
前記時系列の傾きから、前記被試験用トランジスタの電流値を算出することを特徴とする電流測定方法。
【請求項２】
被試験用トランジスタのゲートに第１の電位を与え、
前記被試験用トランジスタの第１の端子と、第１のトランジスタの第１の端子が電気的に接続されるノードに、前記第１のトランジスタを介して電荷を蓄積させ、
前記第１のトランジスタを非導通にし、
前記ノードと電気的に接続する読み出し回路の出力端子の第２の電位と、前記第１の電位を定期的に測定し、
前記第２の電位から前記第１の電位の定数倍を差し引いた値の時系列を作成し、
前記時系列を近似する回帰直線を作成し、
前記回帰直線の傾きから、前記被試験用トランジスタの電流値を算出することを特徴とする電流測定方法。
【請求項３】
請求項２において、
前記回帰直線の決定係数が最大になるように、前記第１の電位の定数倍を決定すること

を特徴とする電流測定方法。

【請求項４】

請求項１乃至請求項３のいずれか一において、

測定環境を恒温状態にして測定する電流測定方法。